

松川プール (飯田市鼎中平)



「丘の上」と呼ばれる飯田市中心街は台地上にあるため、かつては生活用水の確保にさえ苦労した。川を生かして造られた松川プールは、そんな地域の歴史の一端を伝えている。

(中山道雄)

川の水を引き入れ建設

一九二五(大正十四)年、田彦太郎が私有地を提供し、鼎村(現飯田市鼎中平)の本近くを流れる松川の水を引き

入れた「松川プール」を建設した。当時、飯田下伊那に同様の施設はなく、夏場には多くの人たちが来場。水泳大会も開かれ、レジャーの場として親しまれた。三八(昭和十三年)に撮影された写真には、事故防止の見張りに使われた舟が映っている。



24

